

Title: 183



谷瀬 紗加
3年間の集大成をアジアで発揮してきます!!
不安なことだらけですが、がんばります。

主に都市を中心に行動します。撮影方法はスナップでバリエーション。

● 最近のエントリー

- 106
(2012.06.29)
- 105:社会貢献
(2012.06.28)
- 96
(2012.06.19)
- 89
(2012.06.13)

● アーカイブ

- 2012年07月
- 2012年06月
- 2012年05月
- 2012年04月
- 2012年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

- インド/プリーより
- インド/マイソールより
- カンボジア/シェムリアップより
- カンボジア/プノンペンより
- シンガポールより
- タイ/サンクラプリー
- タイ/バンコクより
- ベトナム/ハノイより
- ベトナム/ホーチミンより
- マレーシア/KLより
- マレーシア/PPより
- マレーシア/マラッカより
- 台湾/九股より
- 台湾/台北より
- 台湾/高雄より
- 日本/東京より
- 海の上/船の中より
- 韓国/ソウルより
- 韓国/釜山より

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

183 > 2012年06月 アーカイブ

12.06.29

106

[Tweet](#)[Check](#)

FW7期生の女子三人は只今インドのプリーに居ます。

トゥンからプリーに移動する時に察台列車で移動しました。

察台列車の乗車時間が夜遅かったこともあり、トゥン駅で長いこと時間をつぶしていました。

その時に会った女の子の話を書きます。

ホームで電車を待っている時に、井関と長山が仲良くなった兄弟（お兄ちゃん推定14歳くらい、妹ちゃん推定10歳くらい）がいて、その兄弟が電車に乗って去る時に二人は記念撮影をして、お互いを撮り合っして、

谷瀬は、その姿を荷物を見張りながら微笑ましくみていました。

その時に私の隣に一人の女の子（7歳くらい）が座ってきました。
女の子はきれいなバンジャビドレスに三つ編みで、
その子のバンジャビドレスには10ルピーのお札とコインが少しだけ乗っていて、その子が音を立てるようにジャラジャラしていた以外はインドではよく見かける子供たちと何の変わりもない子でした。

私がカメラを見せて、女の子に「あなたも写真を撮ってほしいの？」ときくと

女の子はノーノーと言いたげに手を振り、首をふり座っているだけで・・・

私も何をしてほしくて近寄ってきたのがわからず、困り・・・

「キャラメル食べる？」と出すと

ニコッとしてそれを食べ始めました。

話しかけても、言葉を発想としないので英語が通じないのかな！？と思っていたら、

「What is your name?」と聞かれてびっくり。

英語わかるんじゃん！！！！と叫び、

「Suzuka!」と教えてもボカーンとしてるので

メモとペンを出して書いた。

そしてその女の子にも聞き返して、書いてもらった。

その子は「サイ」と言う子で、書いてもらった文字はテルグー語らしくアルファベットに似ているけれど、文字が少し違った。

名前のやり取りが終わったところで、サイはメモとペンを鞆にしまうように私にジェスチャーで指示して。
オケオケー！と答えながらしまい・・・

サイが英語が通じるとわかって、何を話そうかなー。と思っているときに、長山が社会貢献で使った折り紙を出してくれて、それから折り紙で遊ぶ事に◎

何色がスキー？と聞いて、折り紙を選んでもらって、二人で折り紙をやっていたら、10歳くらいの男の子がさらに隣に座ってきて、

昔で折り紙大会www

夜な夜なトゥニのホームで、日本人がカラフルな折り紙を出して子供と遊んでいるので、注目度も高く、周りにはインド人の視線を釘付けにしていましたー

折り紙が苦手な谷瀬はアタフタしながら子供っちに折り紙を教え・・・

わからなすぎて長山にヘルプ・・・

さらに谷瀬の隣にいる折り紙の苦手な井間は・・・折り紙を握りながらブツブツブツッ・・・

サイに折り紙を取らせながらも、サイに何をする隙間も譲り難くは生まれる事がある。

長山と会話をしないところが（応募は全てジェスチャー）だったり、折り紙に飽きた？
ようで、つくらなくなり、これを作ってアレを作ってとジェスチャーで伝えてくれるだけ
で、サイは折り紙をプレゼントされても笑ったりはしなかった。

長山が折り紙を折っているところを写真を撮ろうとするとそれも嫌がって、
ノーノーノー！！と言わんばかりに、手を振り首を振り・・・

それを見ていた、谷瀬と長山は照れてるのねー。と思ってにっこり。

隣に座った男の子と兄弟なの？と聞いても違うと首をふるだけで、

言葉を弛しようとはしなかった。

折り紙が無くなってしまい、折り紙大会が終了して男の子は家族の元に戻って行ったけれ
ど、サイは移動しようとせず、私の隣にずっと座っていた。

長山の鞆を指し、携帯電話持ってるか？と聞きたいらしくジェスチャーをし始め、長山が
「持っていない」と答えると、
私と井間にも同じ事をしてきた。

サイは時々、私の鞆を指差してきて
「何が欲しいの？」と聞いても「わからない」と言わんばかりに首を傾げるだけ。

私もこまってる、サイの隣でぼーっとするだけ・・・。

四人並んでぼーっとするだけ・・・。

その時に長山が「この子のお母さんとおもう！」と言っていたおばちゃんが電車に乗り、
でもサイは乗らず・・・

あれ！？え！？ママじゃなかったの！？あの人・・・！？

と三人並んでポカーンとするしがなく・・・

もう時間も遅くなっているのに、ずっと一人で私の隣で座っているサイがどうゆう事なの
がその時にわかり始めた。

サイは私に「1ルビー」といいパンジャビドレス上についたお金をジャラジャラさせた。
私は「持っていないよー」と答えた。

サイは私の隣で折った折り紙を鞆タスに隠した

インド／フリーより

しばらくすると、荷物？を運んでいるおじさん達に見つかり、テルグー語らしきもので色々聞かれていた。

テルグー語がわからない私たちは、憶測でしか理解ができなかったけれど、

おじさん達に色々質問されても、サイは耳が聞こえないフリをしていた。ジェスチャーで耳と口を塞ぎ、パーパーと手を外に振っていた。

何を聞かれても答えず、わからない振りをしていた。
(きっと多分、こんな時間に何をやってるの？とか、お母さんはどこに居るの？とか、お家はどこ？とか聞かれたんだと思う。)

けれど、名前を聞かれると「サイ」と答えていた。

そしたらその中のおじさんが、怒りだし手をあげるフリをした。

それでも、サイは顔色を変えなかった。悲しそうな顔をする事も無く、おびえる事もなかった。

おじさん達は呆れたのか何なのかが、少し話してまた仕事に戻って行った。

サイは再び私の隣で眠りについた。

ホームには警察もいたけど、警察官は何もサイに話しかけていなかったから、きっといつもこの駅に居る訳じゃないんだと思う。

しばらくして時間も考えずに一人でプチギしているおばさんのキレッキレの大声でサイは目を覚まし、私たちに小さな声で「パーイ」と言って駅の入り口に向かって歩いて行った。

この出来事に対して多くの事を語ったりはできないし、誰が悪いと良いのかも言えない。

ただ、書かないと残さないこの少女の事を忘れてしまう気がして、ちゃんと書いておきたかった。

インド／フリーより

カテゴリー: [インド／フリーより](#)
post by 谷澤 鏡加 | 日時: 2012.06.29 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

183 > 2012年06月アーカイブ

12.06.28

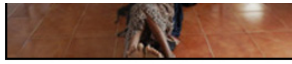
105:社会貢献

[Tweet](#)

[Check](#)

井間が撮影している孤児院にお邪魔して、社会貢献の撮影をしてきました◎

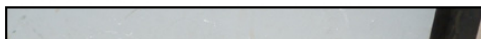
私たちFW7期生の女子達の社会貢献は、孤児院の子供達とコミュニケーションをとりながら、撮影をして写真をプレゼントする！というものです。



日本で用意してきた、風船やシャボン玉をプレゼントしたり◎



折り紙教室を開いたり◎





そしてプレゼントをする写真をセレクトし始める井間





1日中元気な子供たちと遊びんで疲れてた谷瀬w
こんな顔をしているとは思っていませんでした・・・笑っているつもりだったー
もはやピースではないw

ア
コ
メ
ン

インドノブリーより

カテゴリ: [インドノブリーより](#)
post by 谷瀬 翁加 | 日時: 2012.06.28 | [バナーリンク](#)

183 > 2012年06月 アーカイブ

12.06.19

96

[Tweet](#)

[Check](#)



8か国目のインドに入りました！！

インド面白い・・・

なんかもう・・・なんかもいろいろなこちゃこちゃしておもしろい！！

人々の生活も社会の成り立ちも、なんかもう・・・全て全てびっくりする事ばかり・・・

そんな自分の目盛りで測ってでは世界と関われない自分とおさらばする為のブログで

す。

この感覚が失礼にあたって、

この感覚こそが差別であって、

日本人というその感覚が拭えないのを前提に理解しているうえであえて書きます・・・

目の前に広がった世界を、そのまま受け止めるというのは想像以上に難しい事で、勝手に自分の言葉に置き換えたり、勝手にわかったフリしたり・・・してしまうのが現状。でも、その感覚さえも振り切られてしまうような、言葉にならない現実と遭遇するのが東南アジアの旅での日常で、日本に居た時には、絶対に考える事のなかったであろう・・・事を、これから書こうと思います。

同じ人類、同じ人間、たまたまと言っていいくらいの確立で生まれてきた国、
奇跡としか言えない命。

私が生まれてきた"日本"という国は、たまたま「先進国」と呼ばれている国で、

他の国に行っても、"日本より信じられないくらい安い!!!!"というのはあっても、
"日本より信じられないくらい・・・高い・・・"というのはほとんどないと思う。

「こんなに安いんだー!!!」と喜んでいる自分がある。

それがどういことが。

その逆の後進国の人たちに見える世界は、どんなものなんだろうか。

色々な物をいくら見ても、いくら知っても“日本”という自分の中の感覚が抜けない。
それは二十数年間一も日本人をやっけてきて、日本で暮らしてきて、それしか知らなかった人間が突然ボーンと東南アジアに投げ出されて、
そっちの感覚の方が自分に合うんです！！なんて事は起らないだろうし、
その、どうしても生まれてしまうズレから、考えさせられるんだろうし、悩むんだろうし、
自分が当たり前だと信じてきた世界の小ささに唖然とするんだろうし、
それはそれで良いんだと思うんだけど、

でも、その感覚でしか物事を捉えられなかったら、感じられない世界がある事も事実で・・・

その両方を、あーでもない、こーでもない・・・

と感じながら、考えながら書きますー

まとまらない感情は、まとまらないけど、書かないと過去になったときに忘れそうで怖いから。
残します。

同性愛者であることを、オカマちゃんであることを、社会全体が理解してくれる国もあれば、結構が認められている国もある。
同性愛者だとばれてしまったら、殺されてしまう国もある。

同じ感情を抱いているのに、たまたま生まれきた国で、こんなにも運命が変わってしまう・・・。

それはどういう事か？
何が幸せで、何がそうじゃないか？なんて言えない。

国民の大多数の人が、海外旅行にいける日本のような国があれば、
母国ではない国で、不法滞在で仕事をしていて「この山から下におけると捕まっちゃうんだ」と平然と言いなから仕事をしてる人もいる。
それがどういふことが。

タイに入ったときにホテルまで送ってくれた、ガイドさんの話は、

タイは貧富の差がものすごい激しいと言っていた。

国民にアンケートをとったところ、スラムの貧しい人たちが”幸せだ”と感じているという人が多く、

裕福な人たちが”幸せ”を感じていない人が多いという結果が出たという。

それがどういう事か。

一言では言い表せないだろうし、一言ではまとめる事ができないと思う。

見えないけれど大事な物は確実にあって、それが何かは人それぞれ違うのかもしれない

何一つこれが正しいと言いきる事はできないけれど、考える必要はあるだろうし、そこから見えてくる物もあると思う。

豊ゆえに見えなくなっている物は何だろう。

インド/マイソール

カテゴリ: [インド/マイソール](#)より
post by 谷瀬 鈴加 | 日時: 2012.06.19 | [バーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

183 > 2012年06月 アーカイブ

12.06.13

89

[Tweet](#)

[Check](#)

こんにちは@

先日、無事にシンガポールからマレーシアのスクーリング施設に戻ってきました。

シンガポールでは、OLYMPUS様のPCショーのイベントに写真展で参加させて頂きました！！！！

連日多くのお客様でにぎわっていました。

OLYMPUSさんのブースで展示させて頂けたのもあって、多くのお客様に見てもらえました。

普段の生活では、先生や友達に写真を見せてもらう事が多いので、初めて会った人にその場で写真を見せてもらうという経験はとても貴重でした。

芳名帳に広瀬のメッセージを書いてくれるお客様もいて、とても勇気づけられました。

この旅の約半分の時を、このような形で振り返り発表できたことに感動しました。

これも日本にいたら経験出来なかった事だと思います。

私たちに、このような機会を与えてくださいましたOLYMPUS様、ピクトリコ様、大変ありがとうございました。

マレーシア/PJより

post by 谷瀬 鈴加 | 日時: 2012.06.13 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ: [マレーシア/PJより](#)

[183](#) > 2012年06月 アーカイブ

12.06.05

82:サヨナラダメな自分。

[Tweet](#)

[Check](#)



昨日、マレーシアからシンガポールへ入りましたが、

その前に、一回目のスクーリングが行なわれました。

日本から板塚先生と、鈴木先生がいらしてくださいました。
(自分の事なのですが、相変わらずまとまりがありません。繰り返されてる文章など多々ありますがご了承ください。)

ここ二ヶ月半分の写真を見返し、セレクトし、プリントして・・・

まとめるという作業に入り、

私自身「テーマがないのがテーマ」のようなものなので、選ばれる写真には願望がなく、セレクトする段階では絶対条件も生まれず・・・

自分の感覚だけで、良い悪いを決め選択し、プリントし、先生に見せました。

正直、自分でも何が写っているのか理解していなかったので、写真を見せることがとても怖かったです。

知っている国(日本)の場合だったら、自分が何を撮っているのか、わからないなりに何かしら理解ができた。
それは「自分が知っている環境、場所＝何かしら、シャッターを切る事によって自分の物になる」という感覚だったから。

でもそれが、今は・・・

「全く知らない世界、国＝何が起っているのかわからない、どうしたことなのかわからない、でも楽しい！！すごい！！」と言う感覚を元に押されるシャッター。

シャッターを押すという行為が同じ意味だとしても、自分の中での押されるシャッターの意味が全く違ったから。

知ってる物を、自分の好きなように切り取るのと、知らない物を、よくわかんないけど！！わーすごい！！の感覚で切り取るのにはとても大きな違いがある。

そんなこんなで提出した写真も、自分自身は全く理解する事なく、ただただプリントし、写っている物の意味で考えセレクトし、見てもらいました。

こんなにお金も時間もかけているのに、何も進んでいない。自分が何もできていないのを知っているだけにか、学校で見せていたときは全く違う緊張感がありました。

足踏みしてるだけで何も変わっていない。

プリントされてるだけで、何も写っていない。

とても感覚的な事をやっているのに、自分の感覚を最後まで信じきれず、決められないテーマ。

情けないと思いながら、まとめられない写真。

鈴木先生に、「今変われなかったら、今後写真を操り続ける事は無理だと思うよ。」といわれ、まとめる為のキーワード（感覚的な物含め）決められない自分がそれを一番理解しているということ。

言葉で定難することからスタートしない写真を1年操り続けて、結果的に何もまとめられずに、何も決められずに写真だけが継続して増えていっている現状で、

今できていない事が、この後簡単に出来るようにはならないことは気づいていたし、この先の事を考えると自分一人で写真がまとめられない自分がどう・・・

どう写真を操って生きて行くのか？をとてもじゃないけど考えられなかった。

先がないことはずっと前から気づいていた。

覚悟が決められないなら、写真を辞めようとおもった。

けど、諦められなかった。

自分の人生に“写真”がなくなるというのがどうしても、理解出来なかった。

それならそうと、覚悟を決めて進む事をしようと思ったけど、
決められない自分を追い込もうとおもって国外へでてみたけど、状況は変わらず、
自分の意思で決めることが稀いと思う自分がそこでも出てきて、
変わる為に来たのに、変えられない自分がいてギクシャク。

決められないのに時間だけが経ってしまう現状から逃げるように、不安を消すかのように
押されるシャッター
何もできていない自分を肯定するのはシャッターを切ることでしかできなかった。

写真行為とは別に、内に向かって行く思考。

進んで行ったって、何も変わらない現状。

そのスパイラルにもうんざりして、心を新たに押されるシャッター。

シャッターを押す事で肯定出来る自分の存在と、そうなってしまった自分と写真の関係を切り離すべく考え始め・・・

行き着くところは結局いつも一緒。

「自分の存在を肯定できないのが問題」
存在を肯定する為の「写真」になっている事も、「自分の為の写真」になっていることも、早い段階で気づいていた。

いい加減「自分の為の写真」から脱出して、外の物を見るように、外の物に目が向けられて、話ができるようになる事がベストだとおもって・・・

ここ2ヶ月半旅をしてきた。

想像以上に1日という単位が早く、あっという間に1日が終わる。暑いもありで1日フルに動けない体と、何も変えられない事にイライラする自分。

出発前よりは確実に視野は広がったし、世界は理解出来る事／できない事という言葉なんかで言い表せないくらい大きくて、

自分のちっぽけな感性で、これば何、これはどうと理解しようとする事自体がナンセンスだということ。

知らない事がたくさんあって、それが何よりも楽しい。

うん・・・・・・・・

既に繰り返した事を言い続けていて、確実にまとまっていない感が全体的に出ているけれど、

今変わらないと、ここで変わらないと、
私は何も懸せず、写真を辞める事になる。

自分のせいで写真をやめることになる。

こんなに楽しくて、こんなにワクワクして、こんなに面白い事は他にはないと思うのに、
その写真を辞める事になる。

それがどういふことか？

そうならない為には何をすべきか？

やれない、できないとかじゃない。
やりたい奴は、ステップアップしたい奴は、
やれない、できないじゃなくて、「やる」んだ。

できないお前の言い訳なんがまいてないし、
やれないお前の心算も聞いてない。

目的は確実にあって、そこに行く為にはどうするかを考えるべきなんだ。

できない自分と向き合う事も、やれない自分と向き合うことも敢々してきた。

ず~~~~~とず~~~~~としてきた。

もういい加減、そこから脱出するべきなんじゃないのか？

もういい加減、できない。できないってわめいてるのは終わりにするべきなんじゃないのか？

覚悟する事は痛い事かもしれない。
傷つく事かもしれない。むなしさも、情けなさも感じる事かもしれない。

でも。覚悟しないで生きて行く方が時間が無駄になる。
覚悟しないで生きている方がつまらない。

痛い程、泣く程、面白くて、楽しい事なんて、そう簡単には見つからない。

そして、見つけたとしても今と同じ繰り返しになるだけ。



あわあわ。

佐藤さん申し訳ありませんでした。ありがとうございます!!!!

タイからマレーシアに入り、パタワースで無くした事に気づき・・・

それからマレーシアのフリー期間を経て、スクーリング施設にきました!!!!

が!!!!

が!!!!

気がつけば・・・無事カエルを無くして過ごしたマレーシアでは、よく突な人によく遭遇したー

日本人が好きだと言うタイに居たときよりも、突な人の茶番に付き合わされたー

.....

.....

無事カエル威力すごい.....!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

ものすごい発揮されている.....!!!!!!

佐藤さん、本当にありがとうございます。

必ずNEW無事カエルと一緒に日本に帰ります!!!!!!!!!!!!

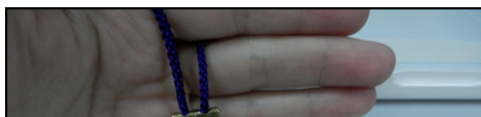
そしてそしてー！

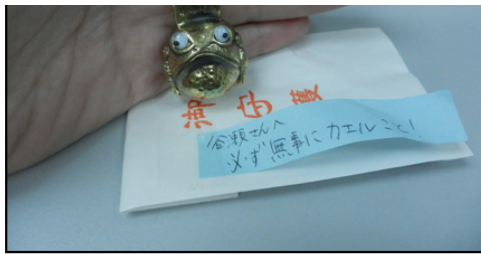
無事カエルには、韓国・台湾と引率をしてくださった鈴木さんからのメッセージ付きでした!!!!!!

むふむむむふふ。

実はこれ以外にも、秘密のメッセージが記されていましたが！ー

二人だけの秘密にしますー！ー





佐藤さん、鈴木さんをはじめの心配をかけてしまった皆様、大変失礼しました。

谷瀬は無事に元気にやっております！！！！！！！！！！

マレーシア/PJ

post by 谷瀬 銘加 | 日時: 2012.06.02 | [バーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ: [マレーシア/PJ](#)より